

「摂食・嚥下サポーター」 「摂食・嚥下コーディネーター」 養成講座

「長崎嚥下リハビリテーション研究会」では、摂食・嚥下障害を抱える患者さんとその家族に対する新たな支援システムのための人材の育成を始めます。

このシステムでは、「摂食・嚥下サポーター」と称する、摂食・嚥下障害についての基礎的な知識と理解を持ち、嚥下障害の患者さんやその家族を支える方々の養成と、「摂食・嚥下コーディネーター」と称する、ある程度の医療・福祉について体系的で幅広い専門的な知識を身につけた方で、相談（コンサルテーション）、調整（他職種との連携）の役割を担うスタッフの養成のための新たな講座をスタートします。

◆摂食・嚥下サポーターとは

摂食・嚥下サポーターは、なにか特別なことをやる人ではありません。摂食・嚥下障害を理解し、摂食・嚥下障害の人や家族を温かく見守る応援者になってもらいます。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、摂食・嚥下障害になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、など活動内容は人それぞれです。「摂食・嚥下サポーター養成講座」を受けた人が「摂食・嚥下サポーター」です。

- この養成講座の受講対象者は、一般の方やどちらかという介護関係の方が適しています。
- 次の日程の研修会に参加することで資格が取得できます。
- 日程は第1回：7/26、第2回：9/27、第3回：11/22、第4回：H21/1/24です。
- この研修会は4回とも同じ研修内容ですので、どれを受講されても資格が取れます。
- 合格者には、本研究会認定の修了証を発行します。
- 研修会の会場は、耀光リハビリテーション病院です。

◆摂食・嚥下コーディネーターとは

摂食・嚥下コーディネーターとは、嚥下障害に関する医療サービスを提供する側(医療関係者)と、医療サービスを受ける側(患者さん、ご家族を含めたすべての医療消費者)の間に立って、療養上の情報や介護に関する情報等を患者さん本人とご家族に説明し、また逆に患者本人や家族の希望を医療者側に伝えるといったパイプ役となり、「立場の違い」から出来る隙間を埋める新しい形態のコーディネーターです。今回は原則として医療機関・施設等においてスタッフとして勤務されている方を対象とします。

- 受講対象者は、医療・介護関連施設に勤務する現任者またはその資格を有する者（医療、看護、リハ、栄養、介護などの関連職種）で、職種は問いません。
- 本研究会の主催する研修会の全日程を受講することを受験資格とします。
- 日程は第1回：6/21、第2回：8/23、第3回：10/11、第4回：12/13、第5回：H21/2/17です。
- 資格認定においては、筆記試験と小論文により認定します。
- 合格者には、本研究会認定の修了証を発行します。
- 研修会の会場は、耀光リハビリテーション病院です。
- 定例研修会の日程は、長崎嚥下リハビリテーション研究会のホームページに掲載しています。

<http://www.swallow-web.com/n-engeriha/index.htm>

<お問合せ>長崎嚥下リハビリテーション研究会事務局 TEL0956-65-2101

主催・協力団体

主催：長崎嚥下リハビリテーション研究会

協力：長崎県看護協会、長崎県介護福祉士会